

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者より聞いた事や入居者について気づいた事を書くノート(個別情報ノート、気づきノートはあるが記入量が少なく上手く活用ができていないため情報共有が不十分である。	入居者についての細かな情報を共有することができる。	ヒヤリハットシートの様式で気づきシートを作成し8月より記載していく。 毎月集計しミーティング等で話し合う事で情報の共有を図っていく。 集計した記録をファイルに綴じ情報ファイルとして閲覧できるようにしていく。	6ヶ月
2	48	入居者個々のできる事、できない事を職員が把握できるようにし、その中で日常的に役割をもってもらえるよう取り組んでいるが、職員の意識やアプローチが弱い部分もある。	入居者ひとりひとりができることをしてもらえるようになる。	上記気づきシートとフロア独自のアセスメントシートを活用しその人のできることでできないことの情報を共有する。 入居者の役割を意識した内容をサービス計画書にのせ実施できるようにする。	12ヶ月
3	38	何もする事がなく、居室やフロアで何もせず過ごされていたりする時間が多くみられる。	入居者の退屈な時間を減らすことができる。	職員からの関わりを多くし、コミュニケーション量を増やす。 したい事や楽しみになる事を増やせる環境をつくる。	12ヶ月
4	13	新人研修を期間や方法、業務基準などOJTシステムを作り行っているが上手く育成できていない。	わかりやすい研修方法を確立し実施できることで辞めない職場作りを目指す。	OJTシステムの見直しを行い、実効性のある新人研修マニュアルを作成、実施していく。	12ヶ月
5	35	防災訓練は定期的実施できているが地域との協力体制が整備できていない。	地域に根ざした、また地域での役割を担えるグループホームを作る。	地域との防災協定を結び地域の防災拠点としての役割を果たせせるようにしていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。